

# 薬局大航海時代 第二章 AIと進む未来の薬局

## 三菱電機ITソリューションズ「AnyCOMPASS」

政府は、医療DXの推進に向け、電子処方箋、電子カルテ情報の標準化、診療報酬改定DXを骨格とした各種施策を実現し、必要な時に必要な情報を共有・交換できる「全国医療情報プラットフォーム」を構築する準備を進めている。そのような中、薬局は“薬を渡す場所”から“地域における健康管理の中核プラットフォーム”への進化が期待されている。

同社ではこの大航海時代を乗り切るため、薬局・薬剤師の未来への羅針盤となれるようなサービスとして、次世代コミュニケーションサービス「AnyCOMPASS」を立ち上げている。その第一弾としてクラウド版電子薬歴サービスを昨年6月にリリースしたが、本学術大会の展示ブースでは「薬局大航海時代 第二章～AIと進む未来の薬局～」をテーマに掲げ、生成AIの活用を紹介する。

2023年以降、生成AI技術は目覚ましい速さで進化しており、ヘルスケア領域でも薬剤師の業務効率化、精度向

上の観点での活用が期待されている。その流れを受けて同社では、電子処方箋を中心とした医療DXへの対応など、さらなる変化の波が押し寄せる「薬局大航海時代」を乗り切るために、生成AIを活用した服薬指導・薬歴作成のためのAIアシスタント機能を開発した。

AIアシスタントは、指導内容データベースや過去の指導実績を学習し、生成AIを活用することで患者さんに合った指導内容をアシストする。また、患者属性情報、患者基本確認情報、処方内容、及び患者さんと薬剤師との会話情報から生成AIを用いてSOAP形式の薬歴を自動生成することで、薬歴記載業務の効率化を実現（特許取得済み）。クラウド版電子薬歴サービスのコンセプトである「しっかり」「スピーディー」「つながる」をさらに強化しており、本大会で参考出展する予定である。今後、在庫管理や経営分析などの本部機能を「AnyCOMPASS」ブランドとしてさらに充実させ、AI



を積極的に活用していく計画だ。

同社は、過去35年以上にわたって薬局向けシステムの開発や販売を手がけてきた。同社が提供する保険薬局向けシステム「調剤Melphin/DUO」シリーズは、処方箋受付をはじめとした保険薬局の業務を幅広くカバーしている。さらに、保険薬局に特化したPOSシステム等、多彩な周辺システムをラインアップし、薬局業務をトータルにサポートしている。

また、同社は三菱電機グループの電子署名技術を活用した署名サービスも

手掛けている。

HPKIカードを利用して署名を行うローカル署名をはじめ、クラウド上の証明書を用いて署名を行うリモート署名（HPKIカード、モバイルデバイスやマイナンバーカード認証）にも対応しており、医療DXの基盤を支える電子処方箋の展開にも貢献している。

薬局・薬剤師への期待の高まりと共に薬局の業務領域は拡大の一途を辿っているが、製品やサービスの提供を通して、薬局の変化をサポートしていく考えだ。

# コンパクトな錠剤専用分包機

## ユヤマ「MINDOSE-8」

薬局での個人宅や施設への在宅医療業務が広がる中、服薬コンプライアンス向上につながる薬の一包化調剤が求められている。調剤ロボット、機器、システムや電子カルテシステムを販売するユヤマでは、ユニバーサルカセット(UC)に薬品を投入して払い出しが行えるコンパクトな錠剤専用分包機「MINDOSE-8 (ミンドーズ エイト)」の販売を8月末から開始した。

従来型の錠剤分包機は1薬品を事前に充填して使用する固定型の錠剤カセットが100個以上搭載されているため、本体サイズが大きくなることが多い。対してミンドーズ エイトは本体幅60cm×奥行55cm×高さ123cmの小型な錠剤専用分包機。一包化業務はあるが、大型の錠剤分包機を使用するまで

もない施設、散薬分包機で手撒きの対応をしているが、手撒きの効率化を考えている施設などにメインまたはサブ機として活用を勧める。

本品には固定型の錠剤カセットは装備せず、UC8個と手撒きアダプターを搭載している。UCは固定型の錠剤カセットとは違い、様々な種類の錠剤を1つのカセットで分包できる同社独自の可変型錠剤カセット。薬品ごとにUCにまとめて投入するだけで、様々な薬品の形状に合わせて払出口の形状が可変し、安全・確実に分包することができる。採用薬の増加にもフレキシブルに対応し、薬剤師の省力化・調剤過誤防止に役立つ。

一包化までの工程は、ミンドーズ エイトが処方データを受信するとUC

前面部に付いた電子ペーパーに薬品名や錠数、患者名などが表示される。次に、その情報どおりにUCに対象の薬品を投入するのだが、UCに投入する薬品は、投入前にGS1コード(PTPシートや医薬品箱にあるコード)を分包機のリーダーで照合する必要がある。照合を行って初めてカセットのロックが外れるようになっているため、誤って異なる薬品を投入してしまうのを防ぐことができる安心設計だ。ロックが解除されたらUCを取り出し、分包に必要な薬品数をまとめて投入。最後にUCを本体にセットし直すと分包が開始される。3つ先の処方までUCへ割り当てされるので、薬品投入作業をまとめて効率的に行える。

オプション機能も充実している。1/2錠にカットした錠剤を投入して払い出すことができる半錠対応UCや手撒きマスの6色LEDガイド表示、自動4色ペンライナーも搭載が可能だ。第57回日薬学術大会付設薬科機器展



示会では、一包化に特化した新たな錠剤専用分包機「ミンドーズ エイト」をはじめ、安全性や効率アップに貢献する最新の調剤機器を多数展示する予定だ。

# 第57回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <p><b>株式会社アインホールディングス</b></p> <p>〒003-0005 北海道札幌市白石区東札幌五条二丁目四一三〇 電話 〇一一(八一四)一〇〇〇</p> <p>代表取締役社長 <b>大谷 喜一</b></p>	 <p><b>クオールホールディングス株式会社</b></p> <p>〒105-8452 東京都港区虎ノ門四一三ー一 電話 〇三(五五〇五)九〇一</p> <p>代表取締役社長 <b>中村 敬</b></p>	 <p><b>中北薬品株式会社</b></p> <p>〒460-8515 名古屋市中区丸の内三ー五(油伊ビル) 電話 〇五二(九九七)三六八</p> <p>代表取締役社長 <b>中北 馨介</b></p>	 <p><b>クレコンリサーチ&amp;コンサルティング株式会社</b></p> <p>〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二ー一二ー一五 電話 〇三(三四〇七)二〇一四番</p> <p>代表取締役社長 <b>木村 仁</b></p>	<p><b>協和ファーマケミカル株式会社</b></p> <p>〒933-8511 富山県高岡市長慶寺五三〇 電話 〇七六六(二一)三四五六</p> <p>代表取締役社長 <b>三吉 勇人</b></p>	<p><b>株式会社富士薬品</b></p> <p>〒330-9508 さいたま市大宮区桜木町四一三八三 電話 〇四八(六四四)三二四〇</p> <p>代表取締役社長 <b>高柳 昌幸</b></p>	 <p><b>吉田製薬株式会社</b></p> <p>〒164-0011 東京都中野区中央五ー一ー一〇 電話 〇三(三三八)七二九一 https://www.yoshida-pharm.co.jp/</p>	 <p><b>森下仁丹株式会社</b></p> <p>〒540-8566 大阪市中央区玉造一ー二ー四〇 電話 〇六(六七六)一ー一三ー一〇</p> <p>代表取締役社長 <b>森下 雄司</b></p>
--	---	---	---	--	--	--	--